



# 飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

## “ロータリーに輝きを”

RI会長  
ゲイリー C.K.ホアン  
2570地区ガバナー  
坂本元彦

### 「行動, ACTION」

第2649例会 2015. 5. 27

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.  
☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21  
事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7  
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662  
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 晴 (NO. 51-48)

会長 山川 莊太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉田(武)君、吉島君

- ・点鐘 山川会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 小島丈幸様、小島直子様

#### 【会長報告】

旅行ではお世話になり有難うございました。親睦委員の皆様のお蔭で大勢の参加、楽しい旅行でした。藤原会員、ホールインワンおめでとうございます。何回でもやって頂きたいですね。6/3理事会、6/6狭山で新旧会長幹事会、勉強してきたいと思ひます。

#### 【幹事報告】

- 6/3 第13回役員会理事会です。
- ◎例会変更のお知らせ
- ◇所沢中央RC
  - ・6/29(月) 振替休会 6/27・28 移動例会 最終例会 (奥多摩路)
- ◇狭山中央RC
  - ・6/23(火) 例会臨時変更 家族同伴夜間例会に振替

#### 【委員会報告】

◎青少年奉仕委員会 杉田君  
24日(ツデーマーチ)、山川会長のお嬢様お孫様を含め11名で参加。予報と違って天気も良く、細田(吉)パスト会長を先頭に、中里(忠)委員長の進軍ラップの下、元気に多峯主山を目指して行って参りました。中央公園では原町、三丁目、河原町の自治会が接待。特に原町の神田(敬)、前島会員にはお世話になりました。来年もあります。たまには日曜日の晴れた日に歩くのも良いのではないかと思います。有難うございました。

- ◎次年度幹事 土屋(崇)君  
6/3 第1回理事会 13:40。よろしく。
- ◎社会奉仕委員会 小谷野君  
秩父・羊山公園「ロータリーの森」には飯能RCのスギが1本あります。5/23、雨間委員長、奨学生チーさんとその下を清掃しました。昼食はBBQ、土産に「豚肉の味噌漬け」を皆様にと思ひましたが女房だけを買ってきました。
- ◎次年度会員増強委員会 雨間君  
5/17 地区研修会に出席。増強計画・戦略を立てクラブ毎に全員で取り組んで欲しいとの事。地区会員数は20年前2,838名。15年前2,430、10年前2,075、5年前1,783、昨年1,688。40%減少。10年、20年後を考えて取り組みたい。

#### 【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
59名	6名	54名	91.53%	96.61%

#### 【M U】

- 5/17 (地区) 雨間君
- 5/23 (地区) 雨間君、小谷野君

#### 【SAA報告】

- ◎ニコニコBOX
  - ・小島さん有難うございます。又、イベント、市にはよろしくお願ひします。 細田(吉)君
  - ・妻の誕生日祝い有難うございました。沢辺君
  - ・藤原さん、ホールインワンおめでとうございます。 吉田(健)君、沢辺君
  - ・誕生日、高齢者の仲間入り致しました。 吉田(行)君

・早退 半田君、小崎君、大野(康)君、森君  
本日計 16,000 円、累計額 1,154,636 円。  
◎ 3 日例会当番は山岸、吉田(行)会員です。

## 【卓 話】

講師紹介

和泉プログラム委員長

丈幸様は川寺出身。S30年代頃の農業、機械化されておらず、化学肥料を使わない、「方向性」の新しい農業に取り組む。直子様は青年海外協力隊でバングラデシュに2年半赴任。お2人共、SEから転身。子育てしながら農業をしたい若い方にも農業を教え、他所から飯能に入られるケースもある。飯能・平松を中心に休耕地を使う等、いろいろな形を試みておられます。1月、第8回飯能プランニングコンテストで見事グランプリを受賞しました。

## 作る人と食べる人の顔が見える農業

小島農園 小島丈幸様 小島直子様

小島丈幸様 (以下T) 加治小、加治中、所沢北高校から東京農工大に進んだ後、ソフトウェア開発等を9年やり、一昨年から農業を始めました。

小島直子様 (以下N) 千葉県出身。夫とは東京農工大で知り合い、バングラデシュではコンピュータを教えていました。帰国後8年間ソフトウェア開発の会社に勤務。子どもは6、2、0歳。家族皆で毎日畑で働いています。2年前に農業を始めました。始めた理由は、2人共子どもの頃から自然が好きだった事。ひとまずITの会社に就職したが「いつかは農業がやりたい」と夫にずっと言って来た。長男が誕生し、食べ物に気を付けるようになり、飯能市から市民農園を借りて始めてみました。野菜作りは「観察する」「実験する」、結果から「考察する」。どれも大好きで、ITの仕事より面白い。子どもが生まれてから仕事より家族を大切にしたいと思うようになった。「(仕事に)行ってくるね」と子どもに言っても、親が何をしているか分からない。東日本大震災の時には東京から帰って来られなくなった。いろんなきっかけから、農業にシフトして来ました。

(T)「食べていけるか」不安でした。富士見市を中心に活動する「無肥料自然栽培グループnico」は年代が同じ位、実に楽しそうに農業をやり生計を立てていた。明石農園(三芳町)に1年間、農業研修に通わせてもらったが、明石さんも出身は農家ではなく、それでもきちんと3人のお子さんを育てておられた。「これならやっていけるかな」と、農業に転向しました。

(N) 小島農園の作物は露地野菜中心で、年間100種位。「野口のタネ」屋さんで扱っている「世界一トマト」は戦前戦後のベストセラー。とても美味しいです。

(T) こだわりは「種」と「育て方」。「固定種」の野菜を「自然栽培」しています。種取りを続けていく事で気候、畑に馴染み、作物として強くなる。農薬・肥料を与えず、微生物に元気になってもらう、根っこがよく伸びるように土を作ってあげる事で、作物は強くなり、味も良くなります。

(N) 販売戦略は3つ。1)「季節のお野菜セット」を毎週、月1回等、車、宅急便で宅配。契約は40件程。自然食品店「有機の里」、地域のマーケットにも出しています。2)「農業体験」の販売。子どもを対象に、「畑で遊ぶ、畑で食べる、畑で育てる、畑に行こうよ!」のイベントを去年から始めました。3~11月、全12回。「菜花摘みイベント」「田植え」「ジャガイモ掘り」



「サツマイモ掘り」「稲刈り」「大豆(または雑穀)収穫&脱穀」等、皆が来て出来そうなものはイベント化して畑に来てもらっています。3)「固定種野菜の苗」を販売。先日、長野から買い付けに来た人が居ました。全国的に有名な「野口のタネ」屋さんにも苗を置かせてもらっていて宣伝効果は絶大です。今年から、自分で採種する人にハウスで苗を作るサービスも始め、好評でした。◎「食べる人の心」…私達の人柄、思いを知っている人は「思い」もまとめて食べているから余計に美味しく感じるのではないかと。「直子さんが作ったお野菜



だよ」と言うと子どもが野菜を食べると言われました。畑イベントで食べると美味しいです。

(T) 畑に来て欲しい!

1) 生産現場を知って欲しい。お客様によっては畑まで取りに来て下さる。その時に畑をご案内したりしています。(N) 菜花は3月の終わり~4月上旬に食べられます。気候も温かく、春休みのお子さんと摘みに来られます。

2) 畑を楽しんで欲しい。太陽、風、土の感触、草や虫、平松・芦荻場の広々とした風景。居るだけで体が元気になります。

3) 手伝ってみる。作業中いろいろ農業の話が出来ます。農作業は「辛いだけではない、楽しいんだ」という事を感じてもらおう。子ども同士遊んでいます。

(T) 畑を始めて欲しい! というのもあり、苗の販売に繋がっています。来年から、我々のサポート付の貸農園をやりたい。相談を受け、アドバイスもしています。(N) 楽しい農業をブログ、Facebookで発信。WEBを利用しない人向けには「畑の便り」(A4判)を2週に1回発行。前出「nico」通信にも執筆を続けているお蔭で、手伝いに来てくれた人も居ます。

◎「作る人の心」…配達に行きたくて寝てもらうと元気が出ます。野菜の大好きなお客さんから調理方法を聞いたり、コミュニケーションを大切にしています。固定種野菜は形が不揃いになりますが「これは〇さんに」と、お客さんの顔が浮かんできます。

1月のコンテストでは「のらぼう油プロジェクト」で最優秀賞を頂きました。精明地区の耕作放棄地を花畑にしたい。大久保市長はじめ飯能のはらぼうに力を入れています。のらぼうは菜花も美味しく、一面の菜の花畑は道行く人も楽しめる。種まき、採種の農体験も普段会社勤めの人も楽しいかなと思います。旬は4月上旬から長くても3週間。「のらぼう油」が作れば1年間販売する事が出来ます。今秋蒔いて来年6月に採種、油作りまでやりたい。

もちきびもちあわ等の「雑穀エコツアー」を9、11月の2日間でやります。

(T) 飯能の農業青年会議所は会員21名。「自分が飯能の農業を支える」という熱心な方が多い。半数が対面販売。輸出も考えられている果樹農家、自宅直売所で全て売り切るトマト農家、米・大豆等の大規模生産農家等。(N) 会員の半数以上が消防団員だったので夫も2年目から団員になりました。地域を本当に大切にしている素晴らしい人達だと思います。

※次週の例会案内は省略。